

# 利尻屋みのや 不老館

- 物件名：利尻屋みのや不老館（昆布）
- 住所：堺町1-20
- 電話：31-3663
- 所有者：利尻屋みのや
- 運営者：簗谷 修（代表取締役）
- 主任と人員：南澤美代子（店長）、4人
- 建物履歴  
平成15年 利尻屋みのや不老館、  
昔・生活道具館



外観

## ■外観

ランドマークとしての時計台。本州の田舎のお寺にあった記憶から。そもそも購入した物件は、縦に様々な建物を連結されており、「明治」「大正」「昭和」の三時代の棟続きだった。これら三時代を廊下で連結。

①テナント「海鳴楼」の建物／明治26年建築の旧第百十三国立銀行を北海道林屋製茶が昭和23年から使用し、平成15年に簗谷所有となり、平成16年花月堂入居、平成21年海鳴楼が入居している。

これまで瓦屋根の補修は二度実施。コンクリートで基礎工事。床を全て取替。

②不老館石蔵／湿気防止のために木炭を敷設し、開口部を設置。劣化軟石はレッカノンで3回塗り重ね補修。

③街並みの調和／右に「岩永時計舗」、左に「旧百十三国立銀行」といういずれも小樽市指定歴史的建造物の環境の中で、街並みを調和させるために、「不老館」は正面を一步奥へ下げることによって、両側の正面が見えるように工夫。

## ■内観

大正ロマネスク調の内装で統一している。

## ■内容

改装費がかさみ「時計買うお金ないよ」ということで、仕方なく文字盤だけの飾り時計の時計台を設置。針がないから時間が進まない。だから「不老館」。100メートル感覚で堺町に3店舗を配置し一網打尽。

- 売れるコツ四箇条／①小樽の歴史をかんじさせる建物と表飾り ②期待を裏切らない内装と物語の展開  
③明るく親切な定員との会話、知ったかぶりのない商品説 ④商品の品質管理



外壁が内壁



秘密の隠れ家への入口



南澤美代子氏



自然木の梁



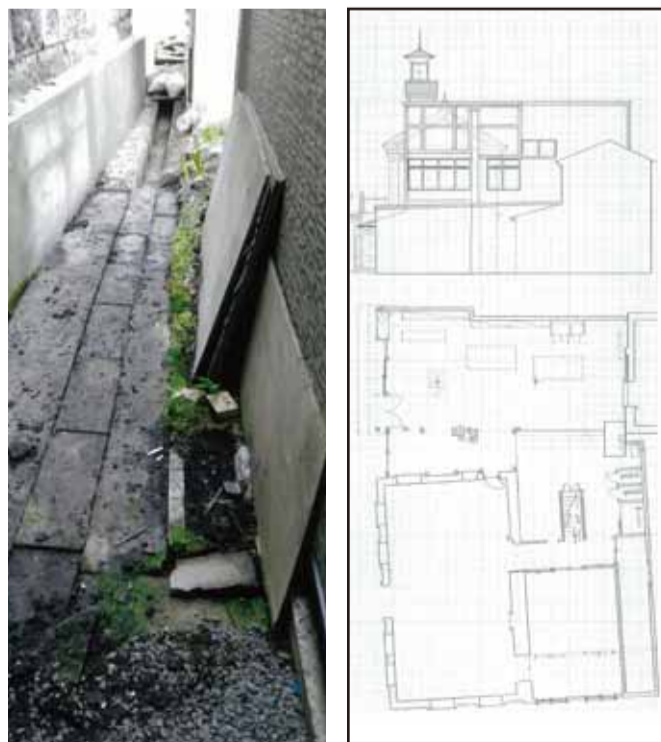
不老館石蔵補修



旧百十三国立銀行内装工事



廊下連結工事



コンクリートで基礎工事

一步下がった建坪図面